

ICT導入協議会（第23回）

議事概要

1. 開催日時：令和8年6月23日（火）13：00～14：30
2. 場所：中央合同庁舎3号館 11F インフラDXルーム（web会議併用）
3. 議事：

（1）ICT施工に関する状況報告	資料－1
（2）ICT施工及び遠隔施工におけるロードマップ案について	資料－2
（3）技術基準類拡大について	資料－3
（4）その他	資料－4

（概要）○委員 ●事務局

（1）ICT施工に関する状況報告

- 令和7年度における直轄土木工事のICT施工の実施率は93%であったことを報告。
- 都道府県・政令市においても、実施率や実施件数が着実に増加していることを報告。
- C・Dランク企業におけるICT施工の経験割合についても、着実に増加していることを報告。
- ICT施工の活用効果や施工者と発注者双方のメリットについて説明
- 中小企業へのICT普及拡大の取り組みについて報告。

【ICT施工の実施状況に対するご意見】

○ ICT施工普及のポイントの内製化であり、内製化により利益を上げ、社員の給与に還元する正のスパイラルを構築できると良い。そのためには、三次元データや機器の取扱いを社内で担える複数人体制を構築することが重要であり、相談できる窓口としてアドバイザー制度などの取組を周知し、活用していただきたい。

（2）ICT施工及び遠隔施工におけるロードマップ案について

- ICT舗装工について、原則化に向けた段階措置として、発注者指定型の拡大を実施していく事を説明。
- 施工データ活用（ICT施工 Stage II）の取り組み事例について説明。

（3）技術基準類拡大について

- 技術基準類に関する令和8年度の検討項目として以下を説明
 - ・ ICT舗装工及びICT舗装工（修繕工）への路面性状測定車の適用検討
 - ・ ICT舗装工へのローラの施工履歴データの適用検討
 - ・ ICT舗装工（修繕工）の出来形管理基準の改定

- ・ LiDAR SLAM 技術による出来形管理手法の検討

【LiDAR SLAM 技術による出来形管理手法の検討についての意見】

- LiDAR SLAM については、多様な機器が存在し、機器ごとに特性や精度が異なる。
基準化する際は、事前に精度検証を実施して使用するといった形にするのか。
- 計測精度の担保のため、現場や作業者を問わず実施できる精度確認や測定手法の整備が必要であり明確化していく。

(4) その他

- 事務局による話題提供として以下の項目について報告
 - ・ 建設分野のフィジカル AI 活用推進 WG
 - ・ 砂防関係事業における遠隔・自動施工の推進検討委員会
 - ・ BIM/CIM 推進委員会の検討状況
- (一社) 日本建設機械施工協会より、ICT 施工の普及促進に関わる活動について情報提供。